

### (小林さん)

大きく捉えて災害が起こった時、障害のある我々はどうしたいか。あるいは災害に備えてどんなことが必要かというようなことですか。

### (川崎さん)

具体的にどうでしょう。自分たちは経験をしました。経験して、自分はさっき言ったように、要するに自分で動けない。行動を起こすことが、通常よりも難しい状況に陥った場合に「助けてください」と、どなたかにお願いをしなければならない。

声を出して「助けて」というのも1つ。それと、先ほど、ちらっとふれましたが、お役所の方の災害時の個別支援計画があって、災害時の時には地域の人、その他の人が助けてくれるような、一応、仕組み作りをしてあるはずなんです。障害者の個別支援計画を国が謳っているわけですから。だけど、よくよく考えてみると、助けに来てくださるはずの方たちも、結局、被害を受けているわけですから。

やっぱり、他人の事より自分の事の方がみんな人間大事ですよ。自分の身を守ることが大事になると思います。だから、走れる人は走って逃げます。我々は、そういう意味では、走って逃げることもできないし、助けを求めて助けが来るまでの時間を、自分で耐えうる力も、多分健常者より弱いと思います。

だから、常日頃から周りの人たちに、「もし、何かあった時はお願いします。」と、お願いはしてはいるものの、そういうことは、全く思いが通じないものなんだなと。言葉をいま選びましたけど、そういうことです。その後のこともそういうことが度々ありましたね。

### (桶屋さん)

障害者、健全者は関係ないの？